

年間授業計画

教科・科目		生物基礎	[2] 単位	対象学年・組	1年生 全クラス	
教科書 副教材		生物基礎 数研出版 スクエア図説生物 第一学習社 リード Light ノート生物基礎 数研出版	教科担任	鈴木 眞之助 石井 規雄		
指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性を理解する ・DNAが生物共通の遺伝物質であるとともに、多様性を生み出す源であることを理解する。 ・変化する環境の中で、体内環境の安定が維持される仕組みを理解する。 ・生物と環境の関わりを理解する。 <p style="text-align: right;">・実験・観察を通して、自学自習の姿勢を作る。</p>				
学期	月	単元	予定 時数	具体的な指導内容・指導目標	評価の観点・方法	
前期	中間 まで 考查	第1編～生物と遺伝子 1章 生物の特徴 2章 遺伝子とそのはたらき	17	生物は、多種多様であるが、細胞という構造を持つこと、エネルギー利用することという共通性を学ぶ。	<p>評価の観点</p> <p>階層的な生物の見方をし、また、進化の視点を取り入れながら生物の共通性と多様性の理解を深めることができるか。</p> <p>実験・観察を通して実物に触れる機会において、自分で調べ、自分で学ぶ姿勢が身についているか。</p> <p>評価の方法</p> <p>参加：遅刻、欠席、授業への取り組み方を見ます。</p> <p>活動：実習レポートや課題等の提出状況とその内容を見ます。</p> <p>定着：定期考査・レポートなどで定着度を見ます</p>	
	学期 まで 末	第1編～生物と遺伝子 2章 遺伝子とそのはたらき	18	全ての生物の遺伝情報は、DNAの塩基配列であり、遺伝情報で、何が作られ、生命活動が営まれているかを学ぶ。		
後期	中間 まで 考查	第2編～生物の体内環境の維持 3章 生物の体内環境	18	変化する環境の中で、体内環境の調節が行われるが、運動、栄養の吸収、病原体の攻撃などに対して、どのように対応しているかを学ぶ。		
	学期 まで 末	第3編～生物の多様性と生態系 4章 植生の多様性と分布 5章 生態系とその保全	17	さまざまな環境の中で、生物は適応して生活している。環境がもたらす多様性と生態系に影響を与える人間の活動について学ぶ。		